

経営比較分析表（令和4年度決算）

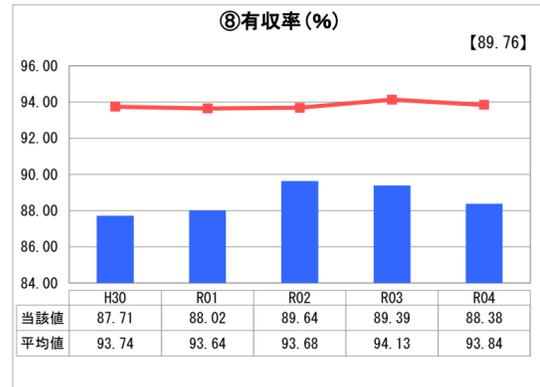
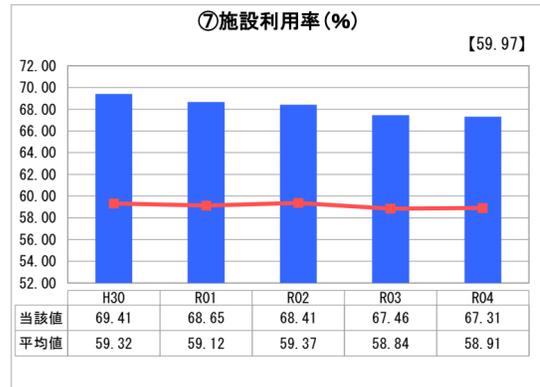
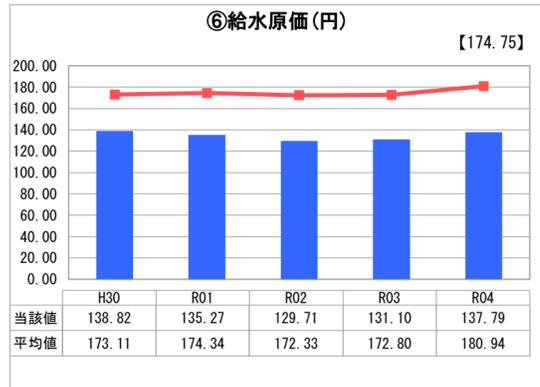
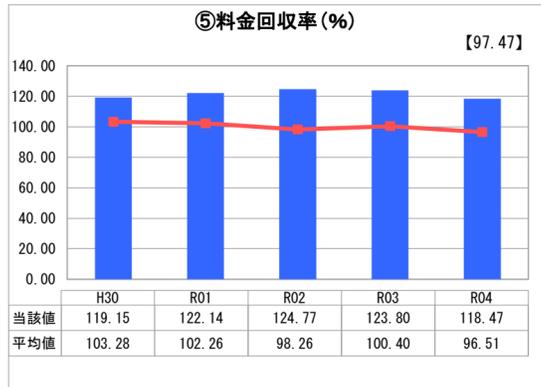
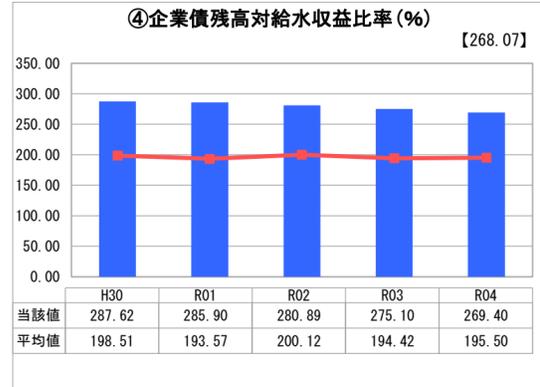
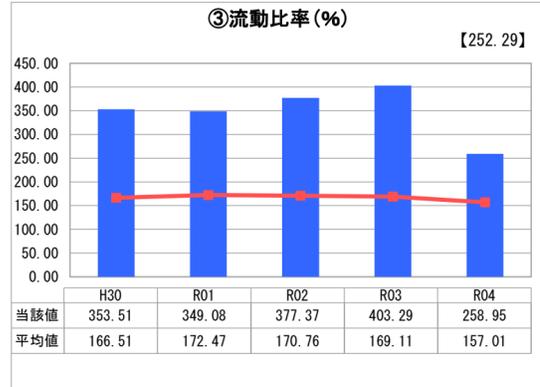
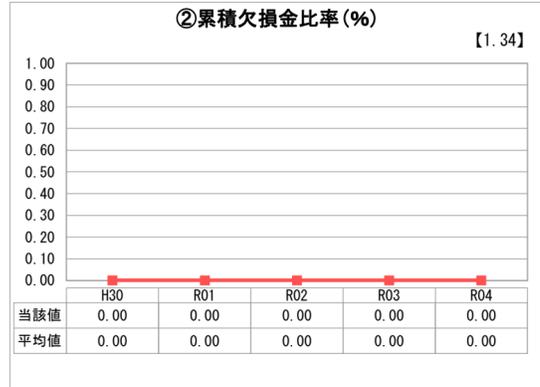
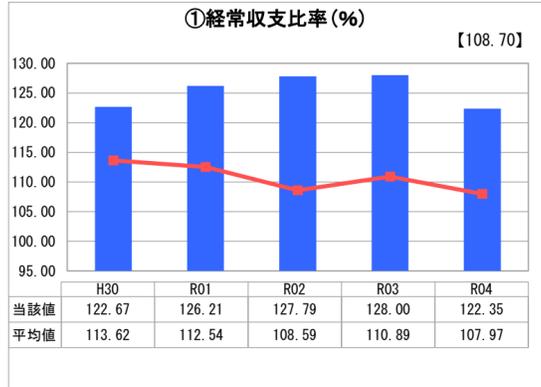
熊本県 熊本市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	政令市等	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	74.45	96.90	2,640	

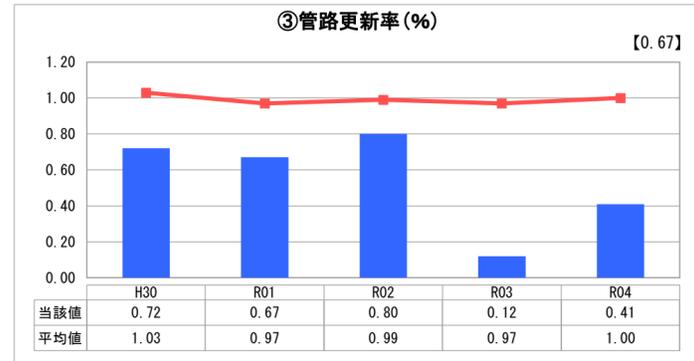
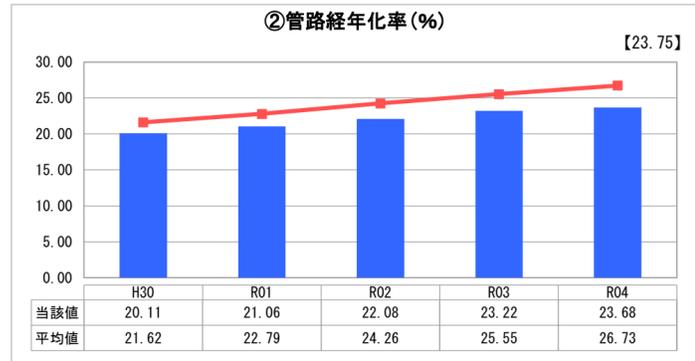
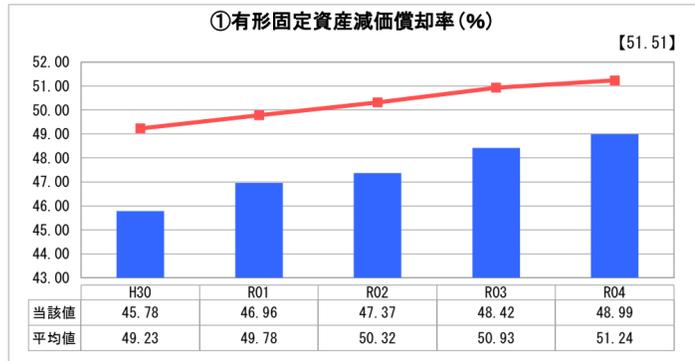
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
731,476	390.32	1,874.04
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
707,302	324.16	2,181.95

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%以上で推移し類似団体平均値よりも高く良好な値を示しています。
 ② 累積欠損金比率は、平成4年度以降欠損金を計上していません。
 ③ 流動比率は、類似団体平均値よりも高く、十分な支払い能力がある状態です。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、給水収益が減少傾向にあるため、比率は類似団体平均値を上回っています。しかしながら、経営戦略における財政見通しでは、令和4年度は276%であり目標を達成しているため、より一層の経営努力を行い、改善に努めてまいります。
 ⑤ 料金回収率は、類似団体平均値より高く100%を上回っており、良好な状態です。
 ⑥ 給水原価は、良質な地下水に恵まれており、類似団体平均値よりも低く抑えられています。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値に比べ高いことから、施設が効率的に運用されています。
 ⑧ 有収率は、類似団体平均値よりも低いため、漏水対策を実施しながら、有収率の向上に努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び② 管路経年率は、老朽管の更新を順次行っており、類似団体と比較すると低い値となっています。近年は微増傾向にありますが、更新費用の平準化や経費縮減といったアセットマネジメントの観点に基づき、改築更新・耐震化などの水道施設の強靱化に向けて事業を実施しています。
 ③ 本市では、導水・送水及び配水本管を基幹管路として位置づけ、その中でも耐震性が低く、老朽化した基幹管路の更新に取り組んでいます。近年の実施状況としては、大口径基幹管路を優先的に更新しているところですが、市街地に位置していることから、工事費が高額となり、管路更新率が伸び悩んでおり、類似団体と比較すると低い値となっています。

全体総括

経営の健全性及び効率性に係る指標を分析すると、おおむね健全な状態であるといえます。しかしながら、今後も人口減少や節水機器の高性能化による料金収入の減少が見込まれ、近年の資材等の高騰への対応経費、老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する自然災害への対策経費、更には脱炭素化に向けた取組経費などが見込まれ、経営環境はより一層厳しさを増すことが予想されます。そのようななか、人口減少社会を見据え、持続可能な経営基盤を確立し、将来にわたって上質なサービスを提供するために、令和2年度から実施している「熊本市上下水道事業経営戦略」に則った事業運営に取り組んでいます。